

# チアリーディング競技における怪我の傾向と安全管理に関する研究のお知らせ

帝京大学スポーツ医科学センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年10月11日～2025年03月31日

## 〔研究課題〕

チアリーディング競技におけるジュニア期のスポーツ外傷・障害調査およびメディカルサポート体制の現状

## 〔研究目的〕

チアリーディング競技は技の高難度化に伴い、アメリカでは年々スポーツ傷害の件数と重症度の両方が増加傾向にあります。日本のチアリーディング競技においても例に漏れず、身体への負担は増加していることが推測できます。そこで、高校までの活動の中で経験したスポーツ外傷障害及び、メディカルサポート体制の現状を明らかにし、チアリーディング競技における安全管理の促進のための基礎資料とすることを目的とします。

## 〔研究意義〕

高校までの活動の中で経験したスポーツ外傷障害及び、怪我に対するサポート体制の現状を明らかにすることは、選手が安全に、安心して活動に取り組む環境を作る第一歩となります。このことは、チアリーディング競技だけでなく、他の競技にも応用できる安全管理対策の基礎になると考えられます。

## 〔対象・研究方法〕

対象者は以下の1～3の条件を全て満たす選手

1、 本学チアリーディング部に2017年度～2023年度に所属

2、 新入生傷害調査アンケート及びトレーナーに関するアンケートに回答した選手

部活動サポート目的で収集していた選手の新入生傷害調査アンケート及びトレーナーに関するアンケートのデータを利用し、その影響や関連性を検討します。

この研究のためだけに、新たに検査等を追加することはありません。

## 〔研究機関名〕

帝京大学スポーツ医科学センター

## 〔個人情報の取り扱い〕

資料は加工を行い個人が特定できないようにします。資料はパスワードでロックされファイルとして外付けHDDに保存し、研究責任者、情報の取扱者及び責任者(松永悠希)のみのアクセス可能とします。研究期間終了後、研究に用いた資料は「帝京大学・帝京大学短期大学における研究データの保存等に関するガイドライン」に基づき、原則として、当該論文等の発表後10年間保管し、その後全て破棄されます。

本研究で得られた情報は、将来別の研究に用いられる可能性があります。

対象となる選手で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 松永悠希 職名 助教  
所属: 帝京大学スポーツ医科学センター  
住所: TEL: 042-690-5588 (代表) [内線 3785 ]